



市議会ホームページのご案内

<http://www.city.kitakyushu.lg.jp/sigikai/>

市議会だよりや本会議の
会議録、インターネット中継
などがご覧いただけます。



新型コロナワクチン2回の接種を受けた方へ 3回目接種券をお送りしています

2月以降は以下の通り3回目接種を実施します。

| 実施会場 | 使用ワクチン |
|----------------------------|-----------|
| 集団接種 2月：13会場 3月：12会場 | 武田/モデルナ社製 |
| 個別接種 市内各医療機関 | ファイザー社製 |

具体的な接種会場など詳細は、接種券に同封のチラシをご確認ください。

1・2回目接種も、現在お持ちの接種券で引き続き予約を受け付けています。

ワクチン接種に関する詳細はこちら▶



予約方法

- ①インターネット(予約専用サイト)
<https://v-yoyaku.jp/401005-kitakyushu> ▲スマートフォンはこちらから
- ②コロナワクチンコールセンター
☎0120・489・199 ■受付時間：9～17時
- ③区役所相談窓口
■受付日時：月～金曜日(祝・休日は除く)の9～17時
- ④市民センター予約専用窓口(当面3月末まで実施)
■受付日時：月～金曜日(祝日・休館日は除く)の9～17時
※車での来場はご遠慮ください。
※対面での予約受付やネット予約の操作補助だけです。
お問い合わせはコールセンターへ電話するか、区役所相談窓口へお越しください。



12月定例会が開かれました

12月定例会が令和3年12月2日から12月10日まで9日間の会期で開かれました。

市長から32件の議案が提出され、審議の結果、31件を原案のとおり決定し、1件を継続審査としました。また、議員から提出された議案は8件で、うち5件を可決しました。

| 1面 | 本会議での会派質疑・一般質問と答弁 など |
|----|--|
| 2面 | 本会議での一般質問と答弁、請願・陳情の審議結果 |
| 3面 | 本会議での一般質問と答弁、お知らせ |
| 4面 | 本会議での一般質問と答弁、議案に対する各会派の賛否一覧、《第3回カフェトークin北九州～議員とまちを語ろう～》を開催! など |

本会議での質疑・質問と答弁

この市議会だよりでは、本会議での質疑・質問と答弁の要約したものを掲載しています。

詳細な会議録は、3月上旬頃から、市立文書館、中央図書館、門司・小倉南・若松・八幡・八幡西・戸畑図書館、市議会事務局でご覧いただけます。

また、市議会のホームページには、2月上旬頃に会議録(速報版)を掲載します。

なお、市議会・市ホームページの会議録検索システムでの閲覧は、3月下旬頃からとなります。

市長等 幼児教育は大変重要であり、同園が果たしてきた役割・機能を継承し今後の教育に生かす必要があるため、本市は同園の廃止を待たず令和5年度に同センターを設置し、アドバ

議員 同センターは、廃止予定である公立幼稚園が培ってきた幼児教育に関する知識や経験を継ぎ、同園廃止後も幼児教育水準の維持・向上を図るための機関であると認識しているが、本市の見解を尋ねる。

12月2日 会派質疑
無所属の会 井上 秀作
(仮称)幼児教育センターの設置について
30分

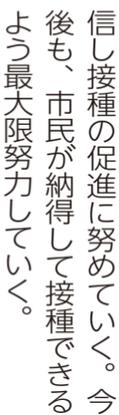


本会議では次の31人が質疑・質問を行いました。掲載記事の順番は発言順です。なお、掲載している時間(分)は、議員の発言時間(執行部の答弁を含む)です。各日付の下にあるQRコードから、質疑・質問と答弁の動画をご覧いただけます。

議員 新型コロナウイルス感染症流行の中、教職員は子どもたちに向き合い支えている。教員確保には労働環境等魅力的な学校現場が重要であるため本市「学校における業務改善プログラム」による改善状況を尋ねる。

教育長 本市は、教職員の負担を軽減し安心して働ける職場環境づくりのため、休憩時

12月2日 一般質問
ハチ共結 小宮 けい子
教職員の労働環境の改善の取組について
30分

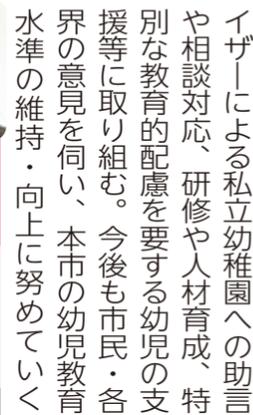


3回目の接種開始段階では、多くの方は1・2回目にファイザー製ワクチンを打たれた方となっており、その中で今後、モデルナ製ワクチンの選択も想定され、初めての交互接種となり不安に思う方も少なくないため、福岡県とともに安全性・有効性について、より丁寧な情報発信し接種の促進に努めていく。今後、市民が納得して接種できるよう最大限努力していく。

イザーによる私立幼稚園への助言や相談対応、研修や人材育成、特別な教育的配慮を要する幼児の支援等に取り組む。今後も市民・各界の意見を伺い、本市の幼児教育水準の維持・向上に努めていく。

議員 3回目の新型コロナウイルスワクチンの接種が始まったが、ファイザー製ワクチンの不足が危惧され、多くの方が交互接種となるのが予想される。安心して接種できるよう、交互接種の安全性をしっかりと周知すべき。

12月2日 一般質問
日本共産党 伊藤 淳一
3回目ワクチンの交互接種の安全性周知について
60分



議員 同見直しにより、自身が守ってきた土地が「できるだけ住まないでほしい地域」に位置付けられようとすることは痛恨の極みだと思ふ。見直しについては対象地域の住民の意思を最大限尊重するよう強く求める。

市長 本市は、がけ崩れ発生における新たな住宅開発を抑制し、

12月2日 一般質問
自民の会 西田 一
市街化区域から市街化調整区域への区分見直しについて
60分

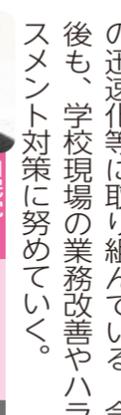


同橋が長大吊橋の技術的原点として評価され、同文化財に指定されることは本市の魅力発信の好機であり、60周年を多くの方に楽しんでいただけるよう、普段立ち入れない場所を疑似体験するバーチャルツアーや、絵画・写真コンクールなど、新型コロナウイルスの感染状況に左右されにくいイベントを検討したい。今後、更に魅力を増す同橋を観光振興にもつなげていく。

間の確保や、持ち帰り仕事の縮減、民間企業による業務改善コンサルティングのモデル校への導入、部活指導員の拡充等による教師の役割分担の適正化、複数のハラスメント相談窓口設置による問題解決の迅速化等に取り組んでいる。今後も、学校現場の業務改善やハラスメント対策に努めていく。

議員 令和4年9月の60周年と、長大吊橋として全

12月2日 一般質問
無所属の会 田中 元
若戸大橋開通60周年と重要文化財指定について
60分



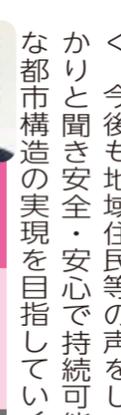
国初となる同指定は、橋にまつわる歴史と価値をあらためて見直す絶好の機会となる。市内外の方々に、その素晴らしい魅力を届ける記念イベントなどを開催すべき。



議員 世界の潮流である脱炭素社会の実現に向け、ものづくりを主力産業とする本市では、製造業を含む産業部門や、中小企業による脱炭素化の取組が喫緊の課題であると考え、どのように取組を進めていくのか。

市長 本市は、エネルギーの脱炭素化とイノベーションの推進を戦略的に進めるため、地元企業と連携しグリーン成長戦略の検討を進めるとともに、脱炭素社会を支える人材育成や省エネ設備の導入補助等を通じて伴走支援を行い、企業の脱炭素経営、競争力の維持・強化につなげていく。今後も産官学の連携を強化し、「環境と経済の好循環」の成功モデルを目指していく。

12月2日 一般質問
公明党 中島 隆治
企業における脱炭素化への取組について
60分



市民の生命と財産を守るため直面する課題を将来拡大させないよう同見直しを進めており、今後もこの必要性等を説明し、しっかりと意見を伺い見直し候補地修正案をあらためて示し説明するなど丁寧に対応していく。今後も地域住民等の声をしっかりと聞き安全・安心で持続可能な都市構造の実現を目指していく。

12月3日 一般質問



議員 性的マイノリティの方々へ相談窓口の周知
 日本共産党 永井 佑
 ジェンダー平等社会の実現について
 60分

性的マイノリティの方々へ相談窓口の周知や支援が届いていない実態がある。その方々の声を積極的に聞き取るためSNSなどによる相談の受付や窓口の周知、土日の相談窓口の開設等、支援体制を整備すべき。

市長等 本市は、LGBTなどの性的マイノリティに関する支援のため、人権推進センターなどの窓口において直接対話方式により相談内容を正確に把握することを原則にしており、区役所等でチラシなどを配布し周知を図っている。現在、YouTubeなどを活用し人権啓発を行っているが、今後はSNSなどを活用し相談窓口の周知を図る方策について検討していく。

議員 東京オリンピック・パラリンピックにおいて柔道日本代表が大活躍した。本市では全国上位レベルの有望な中学生の選手が、受け皿が少なく市外強豪校に進むため、市立高校に柔道部を作り強化してはどうか。

議員 北九州市立高校の部活動は現在、11の運動部と11の文化部が活動し全教員が顧問として指導しているため、部活動の新設には顧問の確保や設備の環境整備等、多くの課題がある。しかし、今後の市立高校の魅力化特色化のためには部活動の充実が欠かせない要素であることから、

まず当面、高い実績を残している既存の部活動を中心に更なる充実を図っていききたい。

議員 コロナ禍で地域住民が抱える課題が複雑化・複合化する中、高齢や障害、困窮等の属性や世代を問わない包括的な支援体制の構築が急務である。本市に、横断的に支援ができるよう担当部署を創設してはどうか。

孤独・孤立対策を進める上ではNPOなどによる支援活動が不可欠であるため今年度、各団体の情報共有や人材育成に関する協議等を行う官民が連携した協議会を設置し、支援のネットワークの強化等を目指す。担当部署の創設については同協議会の運営や本市関係部署の連携のあり方について議論を行った上で体制を整えるなど、今後も含括的な支援体制を構築していききたい。

市長 孤独・孤立対策を進める上ではNPOなどによる支援活動が不可欠であるため今年度、各団体の情報共有や人材育成に関する協議等を行う官民が連携した協議会を設置し、支援のネットワークの強化等を目指す。担当部署の創設については同協議会の運営や本市関係部署の連携のあり方について議論を行った上で体制を整えるなど、今後も含括的な支援体制を構築していききたい。

議員 同センターにおける、発達の特性を持つ子どもへの受診待機の現状とその原因、奨学金制度の創設など絶対数が少ないとされる児童精神科医師の育成及び確保への積極的な取組等について、本市の見解を尋ねる。

保健福祉局長 同センターでは近年、発達障害に係る新規受入れ患者の増加等により全国の他施設と同様、初診まで2〜6か月半の待機期間が生じているため、本市は大学医局への同医師の派遣依頼や人材紹介会社の活用等により医師の確保など体制強化を図っている。奨学金制度には医師の即

戦力としての定着等に課題があり創設する考えはないが、今後子どもや保護者の早期支援に努める。

議員 多くの人が同ワクチン接種後、発熱等で苦しんでいる。発症予防効果ありとされた2回接種後も感染のケースが相次ぎ健康被害の多さの原因も分からない状況の中、子どもへの接種等は慎重に検討し判断すべき。

感染拡大防止等に有効な同ワクチン接種は免疫が起るとされているため市民が接種を適切に判断していただけるよう、国が症状の分析等を行い結果を情報提供している。5歳から11歳までのワクチン接種は国が安全性等を確認したワクチンの2回接種を前提に準備するよう連絡を受けており、本市は今後も国の議論を注視し丁寧な対応に努める。

市長 感染拡大防止等に有効な同ワクチン接種は免疫が起るとされているため市民が接種を適切に判断していただけるよう、国が症状の分析等を行い結果を情報提供している。5歳から11歳までのワクチン接種は国が安全性等を確認したワクチンの2回接種を前提に準備するよう連絡を受けており、本市は今後も国の議論を注視し丁寧な対応に努める。

議員 倒壊等の恐れがある危険な空き家等の除却費の一部を補助する老朽空き家等除却促進事業の予算枠を拡大するとともに、特定空き家等に極めて近い状態のものにも、より強い課税を行うなど更に対策を強化すべき。

建築都市局長 同事業は厳しい財政状況の中、今年度予算は減額したが、土地の流通を勘案して補助上限額を引き下げている区域を拡大するなどの改正により、昨年度並みの除却を見込んでいる。また、構造上住宅と認められない家屋の土地は税の軽減措置対象から除外している。今後は正指導と

補助事業や税制の活用等により所有者等の自主的な対応を促し、老朽空き家等の早期解消を図る。

議員 同見直し計画に係る校区説明会の本市による周知が不十分で、市外在住の地権者等の中には計画を知らない方もいる。丁寧な説明し意見を聞くとともに、住民の合意形成が得られない場合は計画を白紙に戻すべき。

説明会は、自治会のご協力により回覧等で周知する住民説明会に加え、遠方に居住の地権者への説明会は令和4年1月以降、順次開催予定であり全対象者に案内を送付する。意見書受付期限は説明会の状況を踏まえ柔軟に見直し、伺った意見は可能な限り尊重して見直し候補地の修正案を作成し再度説明、意見を伺うなど合意形成に努めながら、今後も丁寧な手続きを進めていく。

市長 説明会は、自治会のご協力により回覧等で周知する住民説明会に加え、遠方に居住の地権者への説明会は令和4年1月以降、順次開催予定であり全対象者に案内を送付する。意見書受付期限は説明会の状況を踏まえ柔軟に見直し、伺った意見は可能な限り尊重して見直し候補地の修正案を作成し再度説明、意見を伺うなど合意形成に努めながら、今後も丁寧な手続きを進めていく。

議員 毎年、大雨が発生する中、本市のインフラ整備を担う地元建設業者の育成は安全・安心な未来を守る上で重要である。本市公共工事の適正価格での発注や、工事代金の迅速な支払に関する取組について尋ねる。

市長等 本市は公共工事に当たり、分離分割発注による地元建設業者の受注機会の確保や、実勢価格を反映させた資材単価等を用いた適正価格での発注等に努めている。工事代金の迅速な支払については毎年度、全部署に周知徹底させ支払期間の可能な限りの短縮に努めており、今後も公

共工事の担い手である地元建設業者の中長期的な育成や経営の安定化に資するよう努めていきたい。



12月6日 一般質問

議員 本市投資的経費の適正水準維持の徹底は、地域経済に多大な影響を及ぼす可能性がある。同経費を抑制すれば、ますます人口が流出する懸念もあるが、民間投資増加のための方策を考えているのか尋ねる。

本市は令和4年度予算編成において投資的経費の選択と集中を図り、風力発電関連産業の総合拠点の形成や、北九州空港滑走路3000メートル級化等、民間投資の促進につながる事業を積極的に推進する。また、民間開発を後押しする補助事業や、PPP、PFI手法の活用による民間投資の喚起等あらゆる政策を活用し、健全財政の維持と、地域経済の発展の両立に努めていく。

財政局長 本市は令和4年度予算編成において投資的経費の選択と集中を図り、風力発電関連産業の総合拠点の形成や、北九州空港滑走路3000メートル級化等、民間投資の促進につながる事業を積極的に推進する。また、民間開発を後押しする補助事業や、PPP、PFI手法の活用による民間投資の喚起等あらゆる政策を活用し、健全財政の維持と、地域経済の発展の両立に努めていく。

議員 同給付金の政府案では、5万円を現金給付後、クーポン発行が現金給付にするかは各自自治体に任せられるとしている。速やかな給付には現金給付が望ま

しいと考えるが見解を尋ねる。国は、クーポンに代えて現金給付することについては「令和4年6月末までにクーポン給付を開始できない見込みの場合に限る」と、大規模災害発生等を想定した限定的な取り扱いを示している。よって、現金給付は速やかに行えると考えるが、現時点ではその選択が自治体の自由裁量にはなっていないため、本市は子育て世代を力強く支援するため迅速なクーポン給付に向け、しっかりと対応していく。

議員 同区域の利用等を土地・建物所有者等の住民主体で話し合い、地区の実情に応じて作る地区計画について、住民が現在の地域ニーズを捉えながら積極的に制度を利用できるように周知すべきと考えるが見解を尋ねる。

災害発生の際に、同区域の地域振興等を目的とする地区計画の策定に当たっては、対象区域の住民等による意見集約や合意等が重要であるため、本市は地域での勉強会等へ専門家を派遣し支援するとともに、ホームページなどにより同計画制度の周知を図っている。今後も地域ニーズなどを捉えながら、魅力ある良好なまちづくりに向け同制度の積極的活用等に取り組む。

市長 災害発生の際に、同区域の地域振興等を目的とする地区計画の策定に当たっては、対象区域の住民等による意見集約や合意等が重要であるため、本市は地域での勉強会等へ専門家を派遣し支援するとともに、ホームページなどにより同計画制度の周知を図っている。今後も地域ニーズなどを捉えながら、魅力ある良好なまちづくりに向け同制度の積極的活用等に取り組む。

速やかな給付には現金給付が望ましいと考えるが見解を尋ねる。国は、クーポンに代えて現金給付することについては「令和4年6月末までにクーポン給付を開始できない見込みの場合に限る」と、大規模災害発生等を想定した限定的な取り扱いを示している。よって、現金給付は速やかに行えると考えるが、現時点ではその選択が自治体の自由裁量にはなっていないため、本市は子育て世代を力強く支援するため迅速なクーポン給付に向け、しっかりと対応していく。

請願・陳情の審議結果
 市政に関する要望があるときは、どなたでも市議会に請願書や陳情書を提出することができます。
 令和3年12月定例会では、請願1件、陳情2件が採択、陳情5件が不採択、請願8件、陳情51件が継続審査となりました。



日本維新の会 篠原 研治
教員の残業実態の把握と対策について
30分

議員 本市が月の上限45時間を超す教員がいることを教育委員会を目標とする時間外在超す時間について、100時間を把握しているのか。同上限を守るためタイムスケジュールの作成等、教職員の働き方を見直すべき。

教育長 本市は、出勤時刻のICカードでの登録等により教員の時間外在超す時間の把握に努めており、上限を超える教員の一定数の存在は認識している。学校は生徒指導等、突発的な業務も多いためモデル的な働き方の提示は困難だが、今年度からモデル校に業務改善コンサルティン



無所属の会 佐藤 栄作
公園管理の在り方について
30分

議員 本市の公園は地域住民主体の公園愛護会が日常的管理を行っているが、参加者の高齢化や担い手不足が課題となっている。企業やボランティア団体、NPO法人などの団体も同会を結成できるようにすべき。

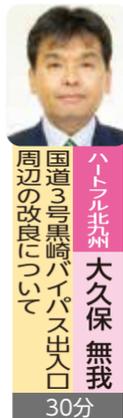
建設局長 約7割の公園で同会の活動により高い維持管理水準が保たれており、本市は同会への理解が深まり新たな担い手が増えるよう同会の活動要件の緩和や結成に係る地域要件の弾力的運用、同会への認知度が低い若い世代向けのSNSによる広報動画配信等を行っており、NPO法人等が地域の枠を超え同会を結成する事例も生まれた。今後も同会に参加しやすい取組に努めていく。



日本共産党 出口 成信
総合療育センターの充実について
60分

議員 本市は、国が「再編等の議論が必要」とする公立・公的病院等リストからの同センターの除外を求めるべき。また、同センター眼科の素晴らしい取組である「ロービジョンケア」を周知させ取組を継続すべき。

市長等 本市は、同リストの対象医療機関の必要性等を再検証する福岡県の会議において、同センターの必要性を強調するなど努力を続けている。視機能を最大限活用し生活の質を向上させる同ケアは現在、対応可能な医師が1名のみであるため高齢者の新規患者の受入を休止しているが、大学医局への医師派遣依頼等により診察技術の継承に努め、効果的な周知方法も検討していく。



ハトム北州 大久保 無我
国道3号黒崎バイパス出口周辺の改良について
30分

議員 同バイパスへ向かう幹線道路や出口周辺では、増大する交通需要により慢性的な渋滞が発生している。本市財政は厳しいが、同バイパスの整備効果を最大限発揮させるため、渋滞する交差点を積極的に改良すべき。

市長 同バイパスは、整備の進捗に合わせ段階的に供用しており、開通した出入口に通じる周辺道路については混雑緩和のため、交通量に合わせた信号サイクルの変更や、右折レーンの延伸等の対策を進めている。本市は今後も、周辺の交通状況の変化に注視しながら国と協力し、同バイパスの整備効果を最大限発揮できるように取り組んでいく。



公明党 村上 直樹
ヤングケアラーへの支援について
30分

議員 ヤングケアラーは社会全体で実態を把握することが大事である。子どもの権利を守り、子どもたちの声なき声をキャッチするため、相談窓口を早急に開設すべき。見解を尋ねる。

市長 大人が担うような家族の介護等を子どもが行うヤングケアラーは、家庭の問題で顕在化しにくいいため本市関係部局が連携して早期発見に取り組み、9月には市立中高生へのアンケートにより把握した生徒の支援も行っている。今後も全てのヤングケアラーにしっかりと届く支援を継続していくため、来年度、より相談しやすい専門の窓口を新設する予定であり、引き続き子どもたちの権利をしっかりと守っていく。



無所属の会 中村 義雄
北九州空港の活性化について
60分

議員 11月に議会や市長、商工会議所会頭等と共に国や地元選出国會議員に対し北九州空港の活性化に係る要望活動を行った。同活動を経ての市長の感想と、今後の取組を尋ねる。

市長 同活動では皆様と共同で、同空港の滑走路3000メートル化の早期事業化の必要性等について国土交通大臣や財務副大臣、超党派の地元選出議員等に対し要望し、しっかりと御理解いただいたと感じるが、その実現には地元の熱意等が重要との指摘を受けたため、今後も県等と一体となり要望活動を行うこと

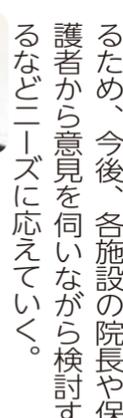
とが重要であると考えている。要望事項の早期実現に向け引き続き国等と連携し全力で取り組んでいく。



日本維新の会 有田 絵里
病児保育の利便性向上について
30分

議員 病児保育の予約の受付はほとんどが電話のため、各施設に空き状況を確認する必要があり手間がかかることから利用を諦める保護者もいる。利用先の事前登録や予約にデジタルを導入し利便性を向上してはどうか。

市長 同保育の事前登録や予約の際には保護者と施設スタッフとの間で、児童の既往歴や現在の治療内容等を確認し適切な看護と保育を提供している。予約等のICT化に当たっては、オンラインの書き込みだけでは不足する症状等の情報をあらかじめ確認する必要があるなど課題もあるため、今後、各施設の院長や保護者から意見を伺いながら検討するなどニーズに応えていく。



公明党 木畑 広宣
公立夜間中学の開設について
30分

議員 同中学の必要性については平成28年9月定例会で質問し「必要性は低い」との本市の答弁であったが、当時から環境が変化しているため、本市も設置に向け検討を進めるべき。現在の本市の認識について尋ねる。

市長等 同中学について政府は今年度からの5年間で全ての都道府県・政令指定都市に1校の設置を目指すとの方針を示し、夜間等に授業を行う学校への就学機会提供を目的とした法律も成立するなど全国的に関心が高まっている。本市が7・8月に行つたアンケート調査の結果において

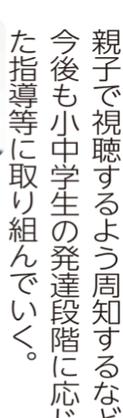
も学びの場を求める一定のニーズが確認できたため、今後も全国の動向を注視し検討を深めていく。



ハトム北州 泉 日出夫
小中学校での大麻乱用防止に向けた教育等について
30分

議員 福岡県内の令和2年の大麻事犯検挙数のうち若年層が7割を占める中、本市小中学校ではどのように、児童生徒に対し大麻乱用防止について教育・指導を行い、保護者にその危険性等を情報発信しているのか。

教育長 ここ数年、本市小中学生の大麻での検挙はないが、保健体育科等の授業や、薬剤師等による全小中学校での薬物乱用防止教室において大麻乱用の危険性等について計画的、継続的に教育等を行っている。保護者に対しては一斉メール配信を活用し、県警や本市が作成した啓発動画を親子で視聴するよう周知するなど、今後も小中学生の発達段階に応じた指導等に取り組んでいく。



無所属の会 大石 仁人
小学生の公園利用について
30分

議員 本市の公園の多くは現在、小学生が伸び伸びと遊べる環境ではない。公園の管理方法の見直しを含め、各小学校区に最低一つは小学生が伸び伸びと遊べる公園を設置・整備すべきと考えるが、本市の見解を尋ねる。

建設局長 本市の公園は多様なニーズに応じ整備しており、市民に身近な公園については地域の特性を生かすため計画段階から、まちづくり協議会等の声を幅広く聞き再整備を進める中で小学生へのアンケート調査等を行い、小学生向けの遊具等を備えた子どもの遊び場も各校区に1箇所

以上整備している。今後も地域住民と協力し、小学生が伸び伸びと遊べる公園づくりに取り組んでいく。



無所属の会 宮崎 吉輝
新型コロナウイルスの今後の展望について
30分

議員 本市が新型コロナウイルス感染症に対応してきた約2年間の経験を踏まえ、「コロナがインフルエンザなどの身近な感染症へ移行すること」についてどのように考えるべきか、本市としての見解を尋ねる。

市長 本市は同感染症対策の増加につれ重症者が減少するなど効果が大きいことや、自宅療養者への支援等、医療対策の幅も広がるなど新たな知見を得た。次の感染拡大があり得るかもしれないが本市は引き続き感染リスク低減に向けた取組に全力を尽くすことで、努力すれば必ず希望が近づいてきていることを皆様と共有できているのではないかと考えている。

お知らせ

視覚障害(1級か2級)のある方に、市議会だよりの点字版、テキスト版CD、音声版CDなどを無料でお届けします。

【問い合わせ】市議会事務局政策調査課
☎582-2632 FAX 582-2685

聴覚障害のある方が本会議の傍聴を希望される場合には、要約筆記者や手話通訳者の派遣先を紹介しています。事前にお問い合わせください。

【問い合わせ】市議会事務局総務課
☎582-2621 FAX 561-1021



北九州 森本 由美
ジェンダー平等の推進
について
30分

議員

先進的取組を行っている本市の外郭団体、アジア女性交流・研究フォーラムの一般事業費が、10年前より6割減となっている。ジェンダー平等の取組を強化しているグローバルな潮流に逆行するのではないか。

総務局長

平成25年策定の本市行財政改革大綱において同団体の運営は絶えず見直すこととしている。研究の質を確保しつつ時節に応じた課題等に柔軟に対応できるように、常任研究員を置かず同団体のネットワークを最大限活用した委託研究に切り替えたが、その研究成果に対する市民の満足度は高い。今後もジェンダー平等の実現のため同団体と協議しながら、しっかりと取り組んでいく。



北九州 浜口 恒博
クロスシメイトビルの今後の管理処分等について
30分

議員

同ビルの売却を進めていた破産管財人が破産財団から当該不動産を放棄したが、今後の管理処分は誰が行うのか。また、同ビル周辺の道路等が通行できなくなったため、歩道の新設等、早急に対策を講じるべき。

建築都市局長等

同ビルは実質的管理処分権者がいないため、今後、土地所有者等が財産活用について意見をまとめ協力して購入者を探すことになり、本市はできる限り支援していく。通路は安全確保に係り封鎖されていることから、黒崎地区の自治会や本市は国に対し国道3号上への歩道の確保を求めている。国は歩行者の動向等を調査のうえ関係機関と協議することであるため、本市も協力していく。



北九州 三宅 まゆみ
若戸大橋の重要文化財指定
記念イベントについて
30分

議員

同橋の、国の重要文化財への指定の内定を受け、記念の祝賀イベントや、コロナが落ち着き次第の、くぎのうみ花火の祭典の開催ができないか。また、重要文化財となった同橋でのナイアガラの滝花火はできるか。

建設局長等

同橋は文化財への指定に加え開通60周年を迎えるため、新型コロナウイルスの感染状況に左右されにくいイベントなどを検討していく。同祭典は感染状況に応じた対策の準備を進め、来年度は例年同時期に開催予定であり、ナイアガラの滝は同橋に現状変更を加えないため問題ないと考える。本市は今後も若戸の素晴らしさを多くの方に見ていただくよう、しっかりと準備していく。

市議会の虚礼廃止へのご理解を!

公職選挙法では、次のことが禁止されています。

- 議員や後援会が寄附をしたり、有料のあいさつ広告を出すこと。
- 議員や後援会が儀礼的な祝儀、香典、供花を出すこと。
- 議員や後援会がお中元やお歳暮などをすること。
- 議員が暑中見舞いや年賀状などのあいさつ状を出すこと。(自筆の答礼は除く。)
- 市民や団体が議員に寄附などを求めること。



このほか北九州市議会では、**祝電**や**弔電**の**自粛**を申し合わせています。市民の皆様のご協力をお願いします。

令和3年12月定例会 議案に対する各会派の賛否一覧 詳細は、市議会ホームページでご覧いただけます。

| 種別 | 件名 | 議決結果 | 自民・無 | 公明党 | ハート | 共産党 | 自民の会 | 維新の会 | 変革 | 井上 | 村上 | 若松 |
|---------------------------------|--|------|------|-----|-----|-----|------|------|----|----|----|----|
| 市長が提出した議案 | 漁港管理条例等の一部改正/手数料条例の一部改正/保護施設等の設備及び運営の基準に関する条例の一部改正/国民健康保険条例の一部改正/産業観光施設の設置及び管理に関する条例の一部改正/都市公園、霊園、駐車場等の設置及び管理に関する条例の一部改正/地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部改正 | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 社会福祉施設の設置及び管理に関する条例の一部改正/教育施設の設置及び管理に関する条例の一部改正(科学館の新設) | 可決 | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 教育施設の設置及び管理に関する条例の一部改正(幼稚園の廃止) | 可決 | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ |
| | 丸山団地第1工区市営住宅建設工事請負契約締結/当せん金付証券の発売/市道路線の認定、変更及び廃止/市有地の処分/指定管理者の指定(総合療育センター等、戸畑障害者地域活動センター、旧安川邸等、折尾まちづくり記念館) | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 指定管理者の指定(障害者スポーツセンター、西部斎場、かぐめよし少年自然の家、小倉南図書館) | 可決 | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 特別会計補正予算(土地取得(第1号)、市民太陽光発電所(第1号))/一般会計補正予算(第7号) | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議員が提出した議案 | 一般会計補正予算(第6号)/特別会計補正予算(国民健康保険(第1号)、渡船(第1号)、土地区画整理(第2号)、介護保険(第2号)、後期高齢者医療(第1号)) | 可決 | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 沖縄戦戦没者の遺骨等を含む土砂を採取しないことなどを求める意見書/軽石の大量漂着被害への支援と情報収集・監視の強化を求める意見書/離島振興法の改正及び延長を求める意見書 | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 核兵器禁止条約第1回締約国会議への日本政府のオブザーバー参加を求める意見書 | 可決 | × | ○ | ○ | ○ | × | ○ | × | ○ | ○ | × |
| | 男女賃金格差の公表によるジェンダー平等への本格的取組を求める意見書 | 否決 | × | × | × | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | × |
| | 「マイナポイント」付与事業の中止を求める意見書 | 否決 | × | × | × | ○ | × | × | × | ○ | × | × |
| 気温上昇を抑えるために、石炭火力発電所の早期全廃を求める意見書 | 否決 | × | × | × | ○ | × | × | × | × | ○ | × | |
| 決議 | 北朝鮮による日本人拉致問題に対する市民の認識を深めるための取組の推進に関する決議 | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ |

【各会派の一般的な名称】 自民・無：自民党・無所属の会 公明党：公明党 ハート：ハートフル北九州 共産党：日本共産党 自民の会：自民の会
維新の会：日本維新の会 変革：変革と成長 井上：井上しんご 村上：村上さとこ 若松：若松を愛する会

《第3回カフェトーク in 北九州～議員とまちを語ろう～》を開催!

令和3年11月14日(日)、市民の皆様にもっと身近に感じていただくことを目的に、本市の課題をテーマにしたトークイベントを開催しました。今回は、初の取組として、ATOMica北九州(セントシティ7階)からYouTubeによるライブ配信でお届けしました。当日は、お茶を飲みながら和やかな雰囲気の中、企業の代表者をはじめ、地元大学生や中学生にも参加していただき、議員と意見交換を行いました。

1. 挨拶 北九州市議会 議長 鷹木 研一郎

2. 意見交換 テーマ①「北九州市の人口増加に向けた取組について」

- 《北九州市議会議員》 《出演者》
- 吉田 幸正 (小倉北区) 菊池 勇太 様 (合同会社ボルト代表)
 - 渡辺 修一 (小倉南区) 嶋田 瑞生 様 (株ATOMica代表取締役COO)
 - 森本 由美 (小倉南区) 若杉奈々子 さん (北九州市立大学4年生)
 - 大石 正信 (小倉北区) 小野 哲生 さん (北九州市立大学4年生)
 - 西田 一 (小倉南区)

テーマ②「私たちができるSDGsの取組について」

- 《北九州市議会議員》 《出演者》
- 吉田 幸正 (小倉北区) 渡部 英子 様 (株小倉編織代表取締役)
 - 村上 直樹 (八幡西区) 沖田 愛子 様 (日本環境設計株)
 - 泉 日出夫 (小倉南区) 福岡教育大学附属小倉中学校
 - 大石 正信 (小倉北区) (生徒会役員生徒4名)
 - 西田 一 (小倉南区)



※当日の様子は「YouTube北九州市議会チャンネル」でご覧いただけます。
<https://www.youtube.com/channel/UCETTqXZf7PUerOukwQNhoQ>

